

兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方に関する検討委員会

【第 1 回の意見を踏まえた論点整理】

○検討スケジュール

- ・「今後の阪神圏域の医療提供体制のあり方」の議論をもう少し時間をとるべきである。

○医療圏域

- ・西宮市内の 2 病院のあり方ではなく、阪神北医療圏域も含めた形での広域の議論が必要である。
- ・三次救急医療機関が阪神南地域に偏在しているため、阪神北地域も含めた救急医療提供体制を考える必要がある。

○災害医療

- ・大規模災害が起きた時に自治体病院がどのような機能を発揮できるか、を考える必要がある。

○西宮市立中央病院の現状

- ・病床利用率が 70%未満と非常に低くなっており、診療機能不足に対応するための今後のあり方を検討する必要がある。
- ・(他地域とは異なり、今後、当面の間、入院患者数が増となる) 都市部における公立病院のあり方を議論する必要がある。
- ・病院の老朽化、耐震化への対応が大きな課題である。

○県立西宮病院の現状

- ・救命救急センターが地下にあるため、防災面での対応が必要であり、拡張性にも課題がある。
- ・心臓血管外科が未設置であり、また、呼吸器内・外科も手薄であることから、救急対応に課題がある。